

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 28 日

事業所名 てらびあぼけっと 住吉駅前教室

保護者等数(児童数) 43 回収数 26 割合 60.4 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25件	1件	件	件	集団用のスペース、個別のスペースと確保されています。	引き続き、活動内容によって広い療育室と個室を使い分けていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25件	件	件	1件	作業療法士、心理師の先生がそれぞれいらっしゃることが有難く感じています。アドバイスや療育の内容も適切だと感じています。 新しい先生方の専門性について聞いたことがないため。	現在教室には、臨床心理士、公認心理師、作業療法士、経験5年以上の保育士・児童指導員が在籍しております。それぞれの専門性を持ちながら、チームとしてお子様の支援ができるよう、努めております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25件	1件	件	件		広い療育室と個室とを活動内容によって使い分けております。 玄関、ロッカー、おもちゃ棚の配置に工夫し、支度をしてから遊びに行くように促しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26件	件	件	件	きれいに清掃されている印象です。	毎朝、次亜塩素酸を使って清掃しております。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26件	件	件	件	計画はこちらの要望をくんで、子どもに必要な取り組みを考えていただき、ありがたいです。ただ、計画が年度が始まってからだいぶ経ってから作成のため、また少し早い計画だとよいです。	引き続き、お子様や保護者の方のニーズを汲んで支援計画を作成してまいります。目標の達成状況やより優先度の高い課題が見えてきた場合は、いつでも計画を変更してタイムリーに反映させていただきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24件	件	件	2件	子どもに必要なとる事業がよく考えていただいていると思います。	支援計画の目標が、ガイドラインのどの項目にあたるものかわかるような書式にしております。支援計画交付の際に丁寧に説明するようにいたします。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26件	件	件	件	課題の達成具合を見て、療育内容もステップアップしてくれそうです。短時間で達成できた課題もあるため、都度、こちらの要望も取り入れてくれたり、聞き入れてもらえるのがとても有り難いです。 毎回、前回の取り組みから修正して、常にアップデートした内容なのはとてもよいです。	引き続き、支援計画に沿ってお子様の状況に合わせたステップをふんで支援してまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24件	1件	件	1件	こちらからの要望や子どものその時の状況に合わせて臨機応変に活動内容を考えてくださっていることを実感しています。 同じ教材ばかりではなく、色々な絵やカードを取り扱って下さったり、同じ担当の先生が続かないようにされていることで、きちんと毎回変化があるように対応いただいています。 本人の好きなことを取り入れながら、やる気が出るようプログラムを考えてもらっています。	お子様が見通しを持ちやすいように1日の大きな流れは変えず、1つ1つの活動内容に変化をつけるようにしています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6件	件	14件	6件	こどもは保育園に通っているが、てらびあぼけっとのレッスン中については、教室の中だけの時間になっている。 保育園と併用しているため、療育にそこは求めていないです。 幼稚園と併用なので必要を感じません。 幼稚園に通っているため、こちらの教室では特にそのような機会の必要性は感じません。 幼稚園に通園中です。	保育園や幼稚園と併用される方が多く、教室でそうした機会を求めるとご意見はありませんでした。地域支援、地域参加の点で、今後も地域のイベント情報等を掲示したり、参加できるものがあれば検討してまいります。
10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26件	件	件	件		今後も丁寧なご説明を心がけてまいります。	
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24件	1件	1件	件	毎回、十分な説明をしております。	支援計画の目標が、ガイドラインのどの項目にあたるものかわかるような書式にしております。支援計画交付の際に丁寧に説明するようにいたします。	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16件	3件	7件	件	こちらから質問すれば教えていただけますし、活動後の申し送りなどで十分です。色々学ばせていただいています。困りごとを相談すると適切なアドバイスを頂け、いつも夫婦で感謝の気持ちでいっぱいです。日々の生活で困り事が出てくる度に、相談を聞き入れてくれます。先生方は子供の特性をよく見て知って下さっているの、アドバイスの内容も適切で助かっています。毎回10～15分程度のフィードバックがあります。毎月のレターに書いてありますが、個別に聞いたことはないです。	教室からの発信として毎月お便り(てらぼけLetter)を発行し、ご家庭での関わり等についてポイントをお伝えさせていただいております。個別の関わりについては、毎回のお迎え時のフィードバックや面談時にお困りごとやご相談をお聞きし、教室での取り組みやうまくいった支援方法をお伝えしております。ご利用の皆様からのご要望に応じて、時間を設定しての勉強会等も今後検討してまいります。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24件	2件	件	件	帰りの時に、取り組みの様子を詳細に聞け、次回の取り組みも提案があったり、先生がよく考えて、周りの先生とも共有できていると思います。幼稚園での出来事や他療育であがった課題などをお伝えすると、必要に応じてすぐに活動内容に反映して下さいます。また、保護者と先生だけでなく、先生間でも共通認識して下さいますので難しいです。 トイレトレーニングについて、基本パンツで過ごしていた子どもが、教室の先生方の勘違いから、トイレに座って排泄するのが難しい時に、子どもの求めに応じて、リュックサックに入れていた予備のオムツを渡してしまい、トイレで出せずに泣くと、オムツにさせていた。トイレでできていたこともあり、オマル→オムツと退行してしまったことは、非常に遺憾。自宅では、昨年11月からオマルで排泄できていて、オマル→トイレの移行に苦労していた経緯についても細かくお伝えしていた。オマルをなくす場合は、激しい抵抗に遭う可能性が高いと発達支援センターからも指摘されている。母が余裕がないため、時期を待っている旨も話していたが、そのことをトイレはゆっくり進めていくと捉えてしまっていた。謝罪をされたが、モヤモヤしている。	お迎え時のフィードバックやせらびーのーとの記入、メールや電話等も適宜活用して保護者の方との情報共有に努めております。またお知らせいただいたことは担当者全員が共有できるように、引き継ぎシートを使って記録に残すようにしております。引き続き、保護者の方と担当者皆が情報共有できるようにしていきます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18件	6件	件	2件	活動のあとにその日の様子だけでなく、最近の園や家庭での様子の聞き取りやアドバイスを貰えるので、とても助かっています。面談希望はすぐに対応してくれます。相談時間も十分に確保、しっかり支援して下さいます。話は聞いていただけるが、的確なアドバイスをいただいたことがない。	お迎え時のフィードバックや面談の時間を設けて、ご相談ごとにお応えできるようにしております。引き続き、皆様にご相談いただけるような教室を目指してまいります。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	3件	15件	7件	保護者同士の連携の必要性を感じていません。経験なし 同じ教室の保護者の方と交流してみたい気持ちはある。父母間の交流もあれば良いが、短時間の個別療育なので難しいかなと思っている。	てらびあほけつとの支援の形態上、親子グループでの活動等もなく、保護者様同士の関わりについては特に機会を設定することはしておりません。ペアレント・トレーニングとしての勉強会や相談会の企画を検討し、保護者の方同士のつながりの機会を検討してまいります。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22件	3件	件	1件	どの先生に相談した内容でも、先生方の中で情報の共有されているなど感じます。メールの回答は早く助かります。「申込みをしたことがあるか」と「(申込みをした際に)申込みが対応されているか」と2つの質問に分けた方が良いと思います。	教室の利用についての相談・苦情窓口は管理者としております。通常の療育についてのご相談はお迎え時のフィードバックで担当者に直接お話しいただく、せらびーのーとにご記入いただく、メールや電話いただく等の方法でお知らせください。ご意見やご要望に対してできる限り迅速に教室として対応するように努めております。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24件	2件	件	件		送迎に福祉サービスをご利用のご家庭が増えており、口頭やお手紙だけでなく、メール等も活用しながら必要な情報を素早く周知できるように努めます。また、保護者の方からの発信に対してできるだけ迅速に対応し、意思疎通が十分図れるように努めてまいります。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23件	件	件	3件		毎月、ご利用の皆様に向けたお便り(てらぼけLetter)と、個別の利用日のスケジュールを配布しており、お便りはホームページに載せております。また、事業所自己評価や第三者評価の結果もホームページに公開しております。	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24件	件	件	2件		引き続き、個人情報の取り扱いについては十分に注意してまいります。	
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9件	1件	1件	15件		教室内にある、保護者用の閲覧ファイルに入っております。周知を徹底してまいります。
		21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7件	1件	2件	16件		教室内にある、保護者用の閲覧ファイルに入っております。周知を徹底してまいります。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25件	1件	件	件	<p>毎回とても楽しく通っています。 好きな先生に担当してもらえないのは寂しそうです。</p>	<p>楽しみにしてくださっているお子様が多く、大変うれしく思います。引き続き、お子様にとって教室が楽しく、充実した時間となるように、職員一同努めてまいります。 好きな先生がいるということが、とてもうれしいです。ありがとうございます。担当については、一人のお子様に対して2~3人の職員で原則前回と違う者が担当するように組んでおります。同クールのお子様の担当と合わせて組み合わせを検討いたしますので、お子様のご期待通りとならないことがあると思います。自由遊びや集団活動の時間にはいろいろな先生や友だちと関わる場面を作っておりますので、そうした時間に好きな先生と一緒に遊んで他の先生や友だちとも関わりを広げてほしいと思います。</p>
	23	事業所の支援に満足しているか	24件	2件	件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の特性をよく見ていただいているため、支援方法も適切で、保護者も勉強になります。 ・いつも子供が楽しそうに通所しています。たくさんの成長も見られてとても嬉しく思っています。 ・明るく元気で優しい先生方のお陰です。いつも本当にありがとうございます。 ・いつも楽しみに通っており、有難いです。もうすぐ卒業かと思うと母子ともとても寂しいですが、小学校に入っても娘のペースで成長してくれたらと思います。 ・いつも丁寧で、子供にあった指導をして頂き、とても有難いです。 ・いつも温かく見守って育てていただいております。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。 ・いつもとても丁寧な対応で親身にさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。就学後も通えるなら通いたいと感じるくらい、良くしていただいています。子供もお教室が大好きで、成果もとても出ており嬉しく感じています。今後とも宜しくお願いたします。 ・いつもご対応いただきありがとうございます。 	<p>保護者の皆様にはいつも教室の運営にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。至らないことも多いと思いますので、お気づきの点やご意見をお寄せいただけると幸いです。今後もお子様、ご家族様にとって少しでもお力になれますように、研鑽してまいります。</p>

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 28 日

事業所名 てらびあぼけっと 住吉駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8件	件	森のお部屋もマット等を使い適切な広さを作っている。 活動内容によって広い療育室と個室を使い分けている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	8件	件	お子様と職員がマンツーマンの体制がとれるようにシフトを組んでいる。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8件	件	お子様によってはお支度の手順表を導入して見直しをもっていたいしている。 主に、広い療育室は小集団の活動、個室は個別学習と使い分けることでお子様にとっても活動内容がわかりやすくなるようにしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8件	件	毎朝の掃除、使った玩具は消毒を都度行っている。 換気に十分に気をつけている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8件	件	ヒヤリハットを記入して、同じようなことが起こらないように注意している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8件	件	昨年度の評価表をもとに改善している。	引き続き、アンケート結果から現状の見直しと改善点をあげて、改善に取り組む。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8件	件	ホームページに公開、てらびあぼけLetter(毎月のお便り)とメールで保護者に周知している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8件	件	令和4年度受賞。3年後に再受賞の予定。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8件	件	本部のオンライン研修、外部研修に積極的に参加している。参加しやすい環境を作るようにしている。	引き続き、研修には積極的に参加する機会を設け、職員のスキルアップを図る。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8件	件		他機関の発達検査や支援計画の情報を保護者の方に共有いただき、参考にしながら支援計画を作成するようにする。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7件	1件	本部の825項目のカリキュラムアセスメントがある。	引き続き本部の資料を基準に、アセスメントを行なっていく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8件	件	支援計画の書式にガイドラインの項目を入れる欄があり、目標とガイドラインの項目とのつながりが明確になっている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8件	件	計画をもとにしたプログラムを行なっている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8件	件	ルール遊びで他児が関わる際には事前に打ち合わせを行なっている。 担当者同士で話し合ったり、引継ぎ事項をお子様のファイルの一番最初のページに記録するようにしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8件	件	一日の流れは同じでも毎月の歌を変えたり、リズムウォークの動きや使う道具を工夫して固定化しないようにしている。 お子様によっては、来所時の支度の流れや個別支援の時間の流れのルーティンをあえて組み換えて行うこともある。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8件	件	リズムウォーク、はじめの会、帰りの会は小集団の活動、個別支援の時間は個別療育中心の活動を行なっている。1日の中で両方の活動ができるようにしている。 お子様のニーズと、同じくのお子様の様子を見つつ集団の活動を実施している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7件	1件	リーダーやお子様の担当をボードで掲示して全員が確認できるようにし、毎朝の朝礼でその日の予定や役割(担当)を確認している。	全員のお子様の支援の内容までは朝礼の時間だけでは確認しきれないので、お子様一人ひとりのファイルに引継ぎ事項を記入して共有できるようにする。安全面や重要な項目は朝礼で共有して全職員が意識できるようにする。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8件	件	終礼で共有、疑問点の解決のための話し合いをしている。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8件	件			

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8件	件	ご家族の方からのお話を聞く時間を設けるように意識している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件	2件	今年度はサービス担当者会議が開かれたことがなく、相談支援専門員の方との書面と電話でのやりとりになったが、担当者や児発管が教室での様子を書面にまとめて提出するようにした。	お子様の状況によって、サービス担当者会議を開催していただくように相談支援事業所に依頼するようにする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件	2件	地域でのフォローが必要なご家庭について、保健相談所に連絡する等の必要な連携を取っている。	職員全員がどのお子様が関係機関と連携しているかがわかるように、情報共有を徹底する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	件	医療的ケア児の利用は現在ありません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	件		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	1件	保護者を通して情報交換している。必要に応じて園の先生と直接電話でお話して様子を知ったり、教室での取り組みを伝えたりしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件	2件	就学支援シートの療育施設からの情報を作成して、保護者の方を通して就学先に提出していただいている。	新入職の職員にも就学時の引継ぎについて周知、参加する機会を作るようにする。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8件	件	地域の児童発達支援センターに困難事例のご相談をしたり、TOSCA等の研修に積極的に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	件	8件		地域のイベントや近隣の園の行事や公開日に参加して、情報収集する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2件	6件	コロナ禍で開催が中止されていたが、2021年の開所以来初めて2023年12月15日(金)に江東区児童通所事業所連絡会が開催され、参加することができた。	引き続き、連絡会や勉強会の機会には積極的に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8件	件	教室での出来事を伝えるだけでフィードバックが終わらないように意識をしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件	3件	簡易的ではあるがフィードバックの際に行なっている。ご家庭のタイムリーな話を毎回のフィードバックやセラピーノートを通してできるようにしている。	保護者の方のニーズをふまえて、教室全体の勉強会や集いの企画を検討する。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8件	件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8件	件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8件	件		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	件	8件		ニーズがほぼないため、勉強会や集いのような形態を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8件	件		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8件	件	毎月レターを発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7件	1件	来所時の検温記録票は記入時以外、名前が見えないようにカバー付きのファイルを使用している。事務室や相談室の窓は療育室から中が見えないようにカーテンや目隠しをつけている。	翌日準備等でファイルを鍵付き書庫から出す場合は置き場所に十分に気をつけるようにする。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8件	件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	8件	てらほけレターをホームページに載せている。行事は開催していない。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8件	件		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8件	件		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7件	1件	契約時に持病や服薬について確認している。セラピーノートのその日のご様子に服薬についての欄を設けてお知らせいただくようにしている。	ファイルのどこを見ればお子様の状況が書いてあるか職員全員がわかるように確認する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件	2件	食事の提供はしていません。小麦アレルギーのお子様の利用が決まり、小麦粘土を全て米粉粘土に変更した。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8件	件		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8件	件		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8件	件		